

投資信託

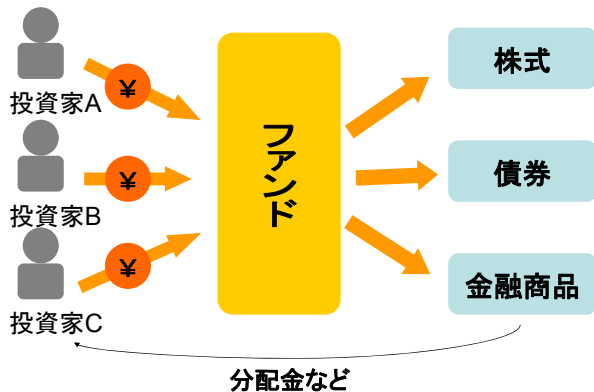
- 投資信託の仕組み
- メリット・デメリット
- 投資信託の読み方
- 売買方法
- 手数料と税金
- 投資信託の種類
- BRICsとVISTA

投資信託とは？

- 複数の投資家からお金を集めて、運用会社が株式や債券などに投資すること＝投信
 - 「投資」を「信託」する
- 株式や債券などへの投資の比率は各投資信託ごとに違う
 - 投資先に株式を含むものを株式投信、債券のみの場合は公社債投信
- 投資信託では、販売、運用、保管という3つの役割を別々の会社が受け持っていることが多い

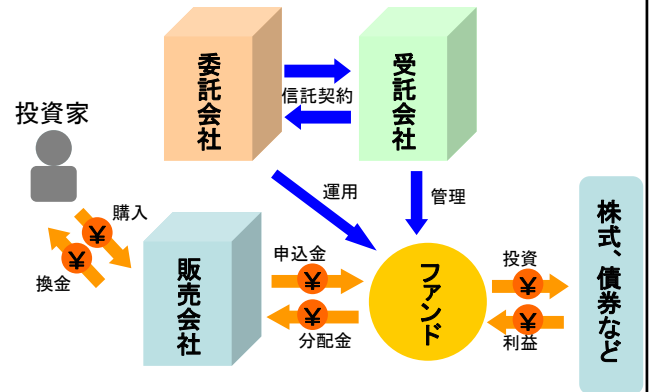
2

投資信託のしくみ



3

投資信託の運営のしくみ



4

投資信託のメリット・デメリット

- メリット
 - 少額からでも参加が可能
 - 少額でも分散投資の効果
- デメリット
 - 元本割れの可能性がある
 - 手数料が高い

5

投資信託の読み方①

- 基準価額
 - 投信の価格
 - 投信の純資産総額を一口あたりに表したもの
- 分配金
 - 投信の収益から直接投資家へ戻ってくるお金
 - 年に数回分配金が出る投信もある

ただし、分配金が出ると基準価額は下がるため注意が必要

6

投資信託の読み方②

○ 投資信託数3217本 (公募)

運用会社	ファンド名	基準価額	前日比
ダイワ	ET電機	197,260	△3
	Dインド	6,149	△133
	ダ日株	8,484	▲6
日興	上場225	14,209	▲8
	中国A株	24,926	△781
	D外株無	16,627	△179
野村	東海	10,308	△7
	ジャパン	7,124	▲13
	チャイナ	19,894	△164

※6月27日
日経新聞より
一部転載

ノムラ・ジャパン・オープン

(円) ● 基準価額 ● 純資産総額 (百万円)

期間	リターン
3ヶ月	+8.6%
6ヶ月	-8.2%
1年	-19.9%
3年	+9.6%



※ モーニングスターより引用

ノムラ・ジャパン・オープン

申込情報			手数料		
設定日	1996-02-28		購入時手数料率(税込)	3%	
償還日	--		購入時手数料額(税込)	0円	
最小買付け単位	10,000円		解約時手数料率(税込)	0%	
買付け単位	1口		解約時手数料額(税込)	0円	
最低申込金額	10,000円		購入時信託財産留保額	0%	
			解約時信託財産留保額	0%	
			信託報酬及び監査報酬(税込)	1.52%	

社名	業種	組入比率
トヨタ自動車	輸送	4.53%
みずほフィナンシャルグループ	銀行	3.20%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行	3.04%
キヤノン	電機	2.79%
三井物産	卸売	2.62%
小松製作所	機械	2.32%
三井不動産	不動産	2.31%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行	2.24%
武田薬品工業	医薬品	1.64%
住友化学工業	化学	1.64%

ポートフォリオ日付 2007-08-27

ファンドの特色
ファミリーファンド方式で運用、わが国上場・店頭登録株式が投資対象。ボトムアップ・アプローチをベースとしたアクティブ運用を行う。個別銘柄の利益・配当・資産などの基礎財務指標と株価との間に存在する投資価値の分析・評価に重点を置き、個別銘柄を究極・銘柄選定では株価の割安性に最も注目。株式組入比率は高水準を維持。ベンチマークは、TOPIX2.0月決算。

チャイナオープン (野村)

(円) ● 基準価額 ● 純資産総額 (百万円)

期間	リターン
3ヶ月	-4.8%
6ヶ月	-19.9%
1年	+24.7%
3年	+135.3%



※ モーニングスターより引用

チャイナオープン (野村)

申込情報			手数料		
設定日	1994-10-14		購入時手数料率(税込)	3%	
償還日	2014-10-13		購入時手数料額(税込)	0円	
最小買付け単位	10,000円		解約時手数料率(税込)	0%	
買付け単位	1口		解約時手数料額(税込)	0円	
最低申込金額	10,000円		購入時信託財産留保額	0%	
			解約時信託財産留保額	0%	
			信託報酬及び監査報酬(税込)	1.52%	

社名	業種	組入比率
中国銀行	銀行	4.40%
中国建設銀行	銀行	3.40%
中国工商银行	銀行	3.40%
中国農業銀行	銀行	3.40%
中国交通銀行	銀行	3.40%
中国民生銀行	銀行	3.40%
中国光大銀行	銀行	3.40%
中国華夏銀行	銀行	3.40%
中国信託銀行	銀行	3.40%
中国郵政銀行	銀行	3.40%

ポートフォリオ日付 2008-05

ファンドの特色
主要対象は中国及び香港の株式。高成長が期待できる中国経済の発展の恩恵を受ける中国企業、中国系香港企業および香港企業の株式(央企、上海B株、H株、レッドチップ銘柄)に投資。トップダウン・アプローチによる市場・業種配分とボトムアップ・アプローチによる銘柄選別。原則として為替ヘッジを行わず。10月決算。

購入方法

- 買える場所
 - 証券会社、銀行、郵便局、投資信託会社、保険会社、信用金庫、農協 など
- 購入方法
 - まずは口座開設(店頭、インターネット)
 - 店頭、電話、インターネットで購入
 - 受益証券をもらう

※ 販売会社によって取り扱い商品にバラつきあり！！

売却方法

- 換金
 - 販売会社に換金を申し込む
 - 4~5営業日後に換金代金を受け取る
 - 換金できないクローズド期間を設けるファンドもある
- 償還
 - 信託期間が有期限の投資信託
 - 償還日の4~5営業日後に償還金を受け取る

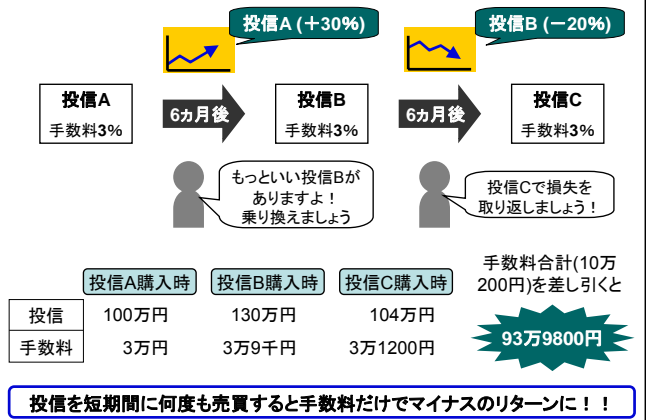
手数料①

	かかる手数料	
購入時	販売手数料	基準価額の2~3% ノーロードファンドもあり
保有中	信託報酬	純資産額の0.5~2%(年率) 毎日控除される(日割)
売却時	信託財産留保金	基準価額の0~1% 徴収されない場合もあり

手数料②

- その他
 - 売買委託手数料→株式等の売買時にかかる
 - 監査費用→公認会計士などによる監査にかかる
- 株式と投信の販売手数料比較
 - 株式100万円購入(成行注文)
 - 三菱UFJ証券 12,600円
 - カブドットコム証券 1,050円
 - 投信100万円購入(三菱UFJ チャイナオープン)
 - 三菱UFJ証券 31,500円
 - カブドットコム証券 0円

手数料目当ての営業マンに気をつけろ！



長期保有するなら信託報酬は低いほうがいい

	投信A	投信B
販売手数料	1.0%	3.0%
信託報酬(年)	2.0%	1.5%
購入額	10,000円	10,000円

初めは販売手数料の安いAが有利だけど……

	投信A	費用(a)	投信B	費用(b)	差(a-b)
購入時	10,000	100	10,000	300	200
1年目	9,800	300	9,850	450	150
2年目	9,604	496	9,702	598	102
3年目	9,412	688	9,557	743	55
4年目	9,224	876	9,413	887	10
5年目	9,039	1,061	9,272	1,028	-33

5年以上保有すると逆転！

税金

	かかる税金	
販売手数料	消費税	5%課税
分配金	所得税 (15%) 住民税 (5%)	普通分配金→20%課税 特別分配金→非課税
売却益	所得税 (15%) 住民税 (5%)	元本超過額に対して 20%課税
信託報酬	消費税	5%課税

公募株式投信の税金

19

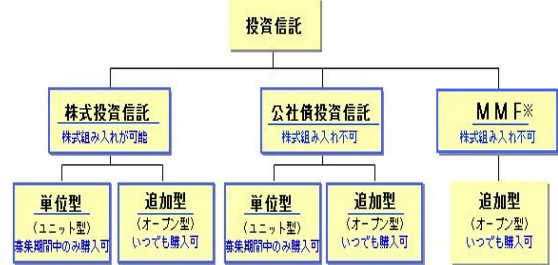
軽減税率	2004.1.1	2009.1.1	2011.1.1
分配金	10%	特例措置10%	20%
売却益	10%	特例措置10%	20%

○ 特例措置

- 分配金→1年間に受け取る分配金の合計額が
100万円以下→10%
100万円超の部分につき→20%
- 売却益→1年間に受け取る売却益の合計額が
500万円以下→10%
500万円超の部分につき→20%

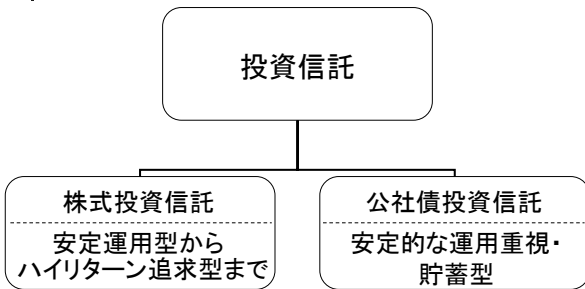
投資信託の種類

20



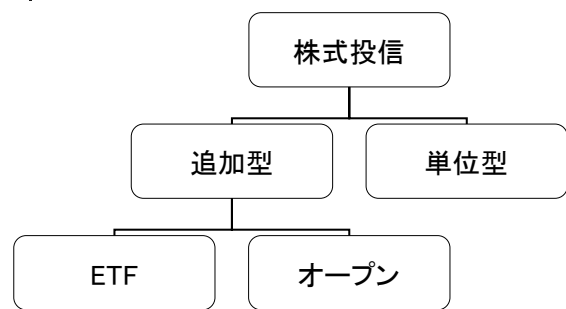
投資信託の種類と運用による分類

21



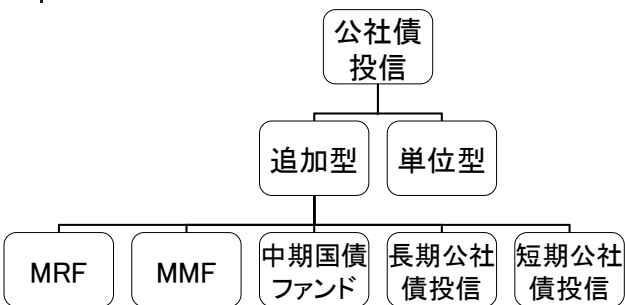
募集方法による分類

22



募集方法による分類

23



単位型のメリット・デメリット

24

○ メリット

- 設定以降、新規資金の流入がないので
高金利時、および株価が底値圏のときに設定
されれば高い運用収益が期待できる

○ デメリット

- 換金性が悪い
- 高値圏で設定されたファンドが元本割れを起こし、
早期償還のケースがある

追加型のメリット・デメリット

○メリット

- 換金性が高い
- 運用実績を知ることができる
- 追加設定があれば相場環境の変化に対応して運用の変更が可能

○デメリット

- 解約が増えれば運用収益が悪化する恐れがある
- 高値圏で大量の追加設定があると運用収益が低下する可能性がある

MRFの特徴

最低購入単位	1円以上1円単位(1口=1円)【手数料不要】
普通預金並みの利便性	換金は1円単位 いつでも手数料なしで換金できる
当日引き出し(キャッシング)	可能。限度額は500万円以内で各社が定める額。限度額を超える場合は、申込日の翌営業日の換金
決算は毎日	収益分配金を毎日計算し、毎月最終営業日に一括再投資
証券総合口座	カード代金の引き落としや給料振込みも可能

MMFの特徴

最低購入単位	1円以上1円単位(1口=1円)【手数料不要】
分配金	収益分配方法はMRFと同じ。申込日の正午までに払い込まれたものは、当日の分配金がつく
換金	1円単位。取引から30日未満に換金すると1万口につき10円程度の手数料がかかる
取引日	お金を正午までに申し込んだ場合→申込日 お金を正午以降、翌営業日までに払い込んだ場合→申込日の翌営業日
当日引き出し(キャッシング)	MRFと同じ

ETF(株価指数連動型投資信託)

- 証券取引所に上場されていて、株式と同じように売買できる投信
- ① 株価指数に連動する
② 証券取引所の取引時間中であれば、いつでも時価で売買できる
③ 株式のように成行注文と指値注文が可能
④ 信用取引もできる
⑤ 株式の売買手数料が適用される
⑥ 株式投信に比べ信託報酬(手数料)が安い

長期公社債投信の特徴

1つの投信会社に1月号から12月号まで12種類のファンドがある	募集期間中しか購入できない
決算は年1回	信託期間は無期限で、複利運用可能
最低購入単位	1万口単位(1口=1円)、積立契約をした場合は3,000~5,000円
換金	申込日から4営業日目に払い戻し いつでも換金できるが、解約手数料がかかる場合もある
長期運用向き	財形貯蓄制度の対象商品

中期国債ファンドと短期公社債投信の特徴

中期国債ファンド	運用対象	円建ての公社債のみ
	ほかの商品性はMMFに類似	最低購入・換金単位、解約手数料が不要となるまでの日数、決算と収益分配方法などはMMFと同じ
	運用会社	3社('07年6月末現在)
短期公社債投信	運用対象	国内債券、外国債券、内外債券のいずれか
	運用期間	3ヶ月、6ヶ月、1年
	購入・換金	原則として決算時にしかできない 最低購入単位、換金に要する日数は長期公社債投信と同じ

新興国投資について

- 新興国に投資する新興国投資も「海外投信」の代表的な商品になっている
- 投資対象は2005年までには経済規模の大きいBRICsが中心だったが、06年以降ベトナム、フィリピン、チェコなどの広がりがある
- BRICsに続く有望市場として、ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチンの頭文字をとったVISTAという言葉も生まれている

新興国投資の魅力



参考文献

- 日本経済新聞(2008.6.30)
- 『投資信託のしくみ』 糸島孝俊 日本実業出版社
- 『投資信託入門』 吉田明弘 実業之日本社
- 『投資信託の裏』
週間ダイヤモンド金融商品特別取材班 ダイヤモンド社
- 投資信託協会 <http://www.toushin.or.jp/>
- 日本証券業協会 <http://www.jsda.or.jp/>
- モーニングスター <http://www.morningstar.co.jp/>
- Yahoo!ファイナンス <http://quote.yahoo.co.jp/>
- 金融庁 <http://www.fsa.go.jp/>
- 野村證券 <http://www.nomura.co.jp/>
- 三菱UFJ証券 <http://www.sc.mufg.jp/>
- カブドットコム証券 <http://www.kabu.com/>
- ゴールドマンサックス証券 <http://www2.goldmansachs.com/japan/>